

令和2年8月28日公表

令和2年産水稻の8月15日現在における作柄概況 (関東農政局管内)

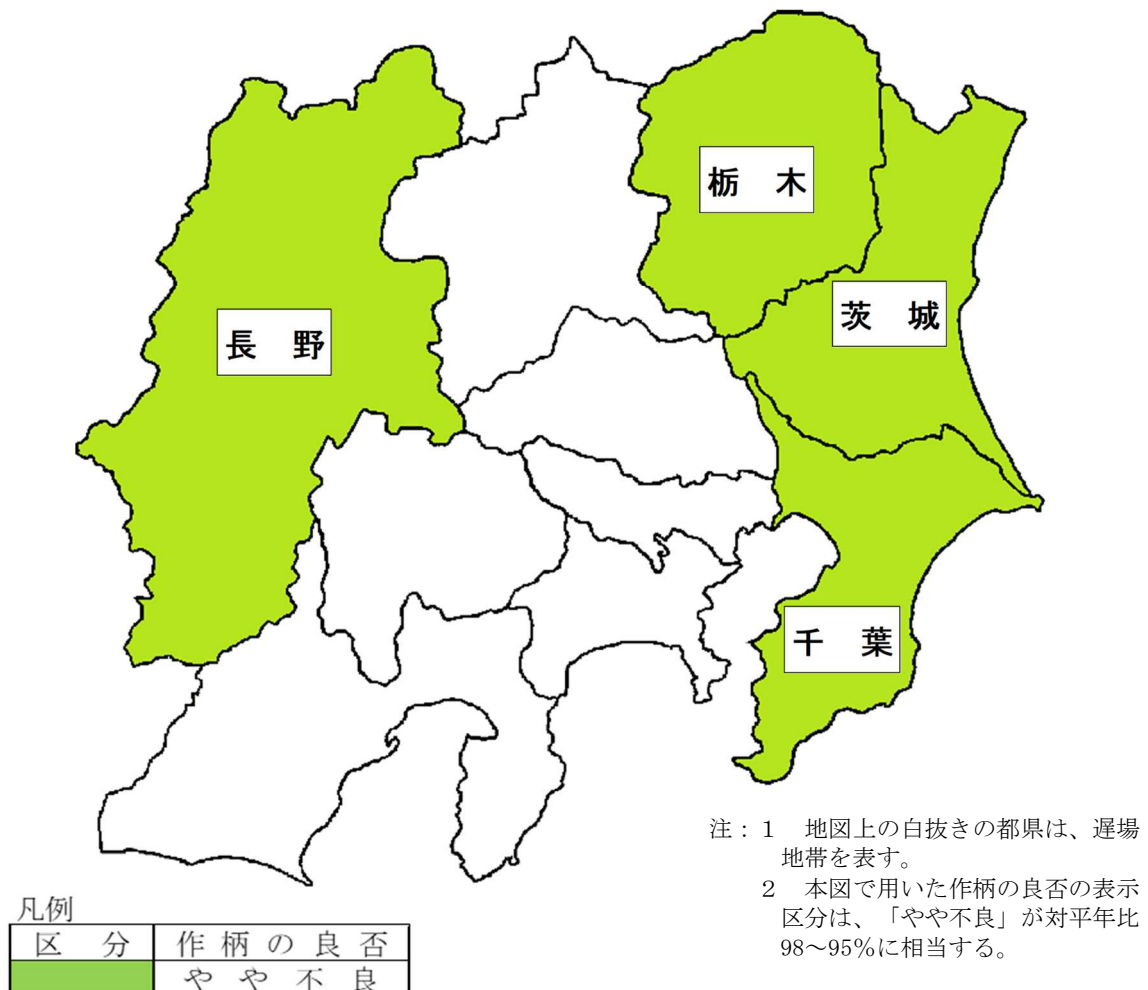
— 早場地帯の作柄は「やや不良」 —

【調査結果】

早場地帯（4県）の作柄は、茨城県、栃木県、千葉県及び長野県ともに「やや不良」と見込まれる。

これは、6月下旬から7月下旬の日照不足及び7月中下旬の低温の影響により、やや不良と見込まれるためである。

図1 関東農政局管内早場地帯の作柄の良否



○ 作柄は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

◎ 用語の解説及び特記事項

- ・ 早場地帯とは、8月15日現在の出穂済面積割合が平年ベースでおおむね8割以上を占める県であり、茨城県、栃木県、千葉県及び長野県が該当する（令和元年産収穫量割合：76.5%）。
- ・ 遅場地帯とは、早場地帯の県以外の都県である（同：23.5%）。

◎ 水稻調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

水稻(子実用)の年次別推移

1 関東農政局管内

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	317,000	520	1,648,000	310,800	1,615,000	98
23	312,900	534	1,670,000	306,900	1,639,000	100
24	312,600	542	1,693,000	305,000	1,652,000	102
25	315,900	546	1,724,000	304,100	1,659,000	102
26	309,600	543	1,681,000	296,400	1,610,000	102
27	291,400	525	1,529,000	280,300	1,471,000	98
28	286,500	541	1,549,000	275,700	1,490,000	101
29	284,200	532	1,512,000	273,000	1,453,000	99
30	286,100	537	1,537,000	275,000	1,477,000	100
令和元年産	286,700	521	1,495,000	273,900	1,429,000	97

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下同じ。）。

2 10a当たり収量及び収穫量（子実用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下同じ。）。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（以下同じ。）。

4 作況指数は、平成27年産からは関東農政局管内で過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（1.80mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

なお、平成26年産までは1.70mmのふるい目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（以下同じ。）。

2 茨城県

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	77,200	521	402,200	75,400	392,800	100
23	75,500	521	393,400	74,600	388,700	100
24	75,800	540	409,300	74,000	399,600	103
25	75,900	542	411,400	73,600	398,900	104
26	74,700	548	409,400	72,300	396,200	105
27	70,300	505	355,000	68,400	345,400	96
28	69,300	521	361,100	67,200	350,100	99
29	68,100	525	357,500	66,400	348,600	99
30	68,400	524	358,400	66,800	350,000	99
令和元年産	68,300	504	344,200	66,400	334,700	96

水稻(子実用)の年次別推移(続き)

3 栃木県

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	63,900	535	341,900	61,900	331,200	99
23	64,000	547	350,100	61,400	335,900	101
24	63,200	544	343,800	60,900	331,300	101
25	66,200	549	363,400	61,000	334,900	102
26	63,900	538	343,800	58,300	313,700	100
27	58,300	531	309,600	54,100	287,300	98
28	57,400	551	316,300	53,600	295,300	102
29	57,600	510	293,800	53,600	273,400	93
30	58,500	550	321,800	54,700	300,900	102
令和元年産	59,200	526	311,400	54,900	288,800	97

4 群馬県

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	18,000	406	73,100	17,300	70,200	82
23	17,600	501	88,200	16,800	84,200	101
24	17,800	508	90,400	16,800	85,300	103
25	17,600	509	89,600	16,500	84,000	103
26	17,300	500	86,500	15,900	79,500	101
27	15,800	489	77,300	14,400	70,400	98
28	15,400	505	77,800	14,100	71,200	102
29	15,500	499	77,300	13,900	69,400	101
30	15,600	506	78,900	13,700	69,300	102
令和元年産	15,500	486	75,300	13,600	66,100	98

5 埼玉県

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	35,700	426	152,100	35,400	150,800	86
23	35,200	485	170,700	34,900	169,300	98
24	35,300	486	171,600	34,700	168,600	99
25	35,400	481	170,300	34,500	165,900	98
26	34,400	501	172,300	33,900	169,800	102
27	32,200	480	154,600	31,700	152,200	97
28	31,700	494	156,600	31,200	154,100	101
29	31,600	494	156,100	30,700	151,700	101
30	31,900	487	155,400	30,800	150,000	99
令和元年産	32,000	482	154,200	30,900	148,900	98

水稻(子実用)の年次別推移(続き)

6 千葉県

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	61,400	542	332,800	60,800	329,500	102
23	60,400	533	321,900	59,800	318,700	100
24	60,500	552	334,000	59,500	328,400	104
25	60,900	554	337,400	59,400	329,100	104
26	60,200	558	335,900	58,300	325,300	104
27	57,000	539	307,200	55,200	297,500	101
28	55,700	549	305,800	53,900	295,900	102
29	55,200	543	299,700	53,300	289,400	100
30	55,600	542	301,400	53,900	292,100	99
令和元年産	56,000	516	289,000	53,700	277,100	95

7 東京都

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	179	396	709	179	709	97
23	165	424	700	165	700	103
24	161	416	670	161	670	101
25	161	415	668	161	668	101
26	159	416	661	159	661	101
27	156	405	632	156	632	98
28	151	415	627	151	627	101
29	141	411	580	141	580	99
30	133	417	555	133	555	101
令和元年産	129	402	519	129	519	97

8 神奈川県

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	3,220	479	15,400	3,220	15,400	98
23	3,220	511	16,500	3,210	16,400	104
24	3,210	493	15,800	3,210	15,800	100
25	3,150	495	15,600	3,150	15,600	100
26	3,140	500	15,700	3,140	15,700	101
27	3,130	485	15,200	3,130	15,200	96
28	3,120	495	15,400	3,110	15,400	101
29	3,090	509	15,700	3,090	15,700	102
30	3,080	492	15,200	3,080	15,200	98
令和元年産	3,040	470	14,300	3,040	14,300	95

水稻(子実用)の年次別推移(続き)

9 山梨県

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	5,290	528	27,900	5,260	27,800	97
23	5,290	545	28,800	5,260	28,700	100
24	5,280	542	28,600	5,230	28,300	99
25	5,260	551	29,000	5,210	28,700	101
26	5,090	547	27,800	5,040	27,600	100
27	5,030	539	27,100	4,980	26,800	98
28	4,990	547	27,300	4,940	27,000	101
29	4,960	549	27,200	4,880	26,800	100
30	4,900	542	26,600	4,820	26,100	99
令和元年産	4,890	541	26,500	4,810	26,000	99

10 長野県

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	34,600	612	211,800	34,000	208,100	98
23	34,200	604	206,600	33,700	203,500	97
24	34,200	610	208,600	33,600	205,000	98
25	34,400	632	217,400	33,700	213,000	101
26	33,900	597	202,400	32,800	195,800	96
27	33,200	604	200,500	32,200	194,500	97
28	32,700	624	204,000	31,700	197,800	101
29	32,300	629	203,200	31,300	196,900	101
30	32,200	618	199,000	31,300	193,400	100
令和元年産	32,000	620	198,400	30,900	191,600	100

11 静岡県

	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	参 考		
				主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成22年産	17,500	512	89,600	17,300	88,600	98
23	17,200	539	92,700	17,200	92,700	103
24	17,100	525	89,800	17,000	89,300	101
25	17,100	521	89,100	16,900	88,000	100
26	16,800	514	86,400	16,600	85,300	99
27	16,300	503	82,000	16,100	81,000	96
28	16,000	525	84,000	15,800	83,000	101
29	15,700	515	80,900	15,600	80,300	99
30	15,800	506	79,900	15,700	79,400	97
令和元年産	15,700	517	81,200	15,600	80,700	99

【統計表】

1 令和2年産水稻の都県・作柄表示地帯別田植及び出穂の状況（8月15日現在）

区 分	田 植 期					出 穂 期					出穂済面積割合	
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較		始期	最盛期	終期	最盛期の比較		当年値	対平年差
				対平年差	対前年差				対平年差	対前年差		
	月 日	月 日	月 日			月 日	月 日	月 日			%	ポイント
茨 城	4.26	5.7	5.25	1日遅	1日遅	7.22	8.2	8.14	4日遅	1日遅	97	△ 1
北 部	5.1	5.10	5.25	1日遅	1日遅	7.26	8.5	…	4日遅	2日遅	94	
鹿 行	4.20	5.3	5.19	1日遅	1日遅	7.18	8.1	8.11	5日遅	1日遅	99	
南 部	4.24	5.5	5.27	並 み	並 み	7.19	7.31	8.13	5日遅	1日遅	96	
西 部	4.24	5.6	5.22	1日遅	1日遅	7.22	8.1	8.12	4日遅	2日遅	98	
栃 木	5.1	5.7	6.15	並 み	1日早	7.29	8.4	…	5日遅	2日遅	89	△ 2
北 部	5.2	5.6	5.15	並 み	2日早	7.31	8.3	8.12	5日遅	2日遅	98	
中 部	5.1	5.6	5.19	並 み	並 み	7.31	8.3	8.14	6日遅	2日遅	96	
南 部	4.30	5.28	6.24	並 み	並 み	7.25	8.10	…	3日遅	1日遅	65	
群 馬	5.22	6.15	6.28	1日遅	1日遅	8.6	…	…	…	…	39	△ 4
中 毛	5.30	6.20	7.1	1日遅	1日早	8.8	…	…	…	…	25	
北 毛	5.14	5.21	6.5	並 み	1日遅	8.3	8.9	…	2日遅	並 み	90	
東 毛	5.15	6.14	6.28	1日遅	1日遅	8.4	…	…	…	…	40	
埼 玉	4.29	5.22	6.27	並 み	1日早	7.26	8.12	…	2日遅	並 み	61	△ 3
東 部	4.27	5.14	6.21	1日遅	並 み	7.25	8.9	…	2日遅	1日早	67	
西 部	5.13	6.7	6.30	並 み	1日早	7.31	…	…	…	…	49	
千 葉	4.18	4.28	5.9	並 み	1日早	7.10	7.21	8.3	2日早	5日早	100	0
京 葉	4.23	5.2	5.13	1日遅	2日遅	7.12	7.25	8.11	1日早	5日早	100	
九十九里	4.19	4.29	5.9	2日遅	1日遅	7.12	7.21	8.1	1日早	5日早	100	
南房総	4.9	4.24	5.6	1日早	2日早	7.7	7.18	7.29	並 み	2日早	100	
東 京	5.24	6.10	6.24	2日早	1日遅	8.1	8.14	…	並 み	1日早	56	△ 4
神 奈 川	5.17	6.2	6.13	並 み	1日遅	8.1	8.11	…	1日早	2日早	83	2
山 梨	5.13	5.27	6.17	1日早	2日早	8.6	8.11	…	3日遅	1日遅	70	△ 8
長 野	5.12	5.22	6.2	並 み	並 み	8.1	8.9	…	3日遅	1日遅	92	△ 4
東 信	5.14	5.23	6.2	並 み	並 み	8.3	8.10	…	2日遅	並 み	92	
南 信	5.8	5.23	6.2	1日早	並 み	7.30	8.7	…	3日遅	3日遅	94	
中 信	5.7	5.14	5.26	並 み	1日遅	7.28	8.7	…	4日遅	2日遅	94	
北 信	5.22	5.30	6.11	並 み	並 み	8.5	8.12	…	3日遅	1日遅	79	
静 岡	4.28	5.19	6.13	1日早	2日早	7.20	8.7	…	並 み	2日早	70	1
東 部	5.6	5.21	6.8	1日早	2日早	7.25	8.9	…	並 み	2日早	68	
西 部	4.19	5.16	6.17	1日早	2日早	7.15	8.4	…	並 み	3日早	71	

注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。
 2 出穂期の「最盛期」及び「終期」の欄の「…」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないことを示す。
 3 出穂済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。

2 令和2年産水稻早場地帯の作柄概況（8月15日現在）

区分	作柄概況（平年比較）				
	作柄の良否	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
茨城	やや不良	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
北 部	やや不良	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良
鹿行	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
南 部	やや不良	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
西 部	やや不良	平年並み	平年並み	やや少ない	平年並み
栃木	やや不良	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
北 部	やや不良	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
中 部	やや不良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
南 部	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
千葉	やや不良	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
京 葉	やや不良	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
九十九里	やや不良	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
南房総	やや不良	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
長野	やや不良	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
東 信	やや不良	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
南 信	やや不良	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
中 信	やや不良	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
北 信	やや不良	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良

注： 本表における平年比較の表示区分は、「やや良・やや多い」が105～102%、「平年並み」が101～99%、「やや不良・やや少ない」が98～95%、「不良・少ない」が94%以下に相当する。

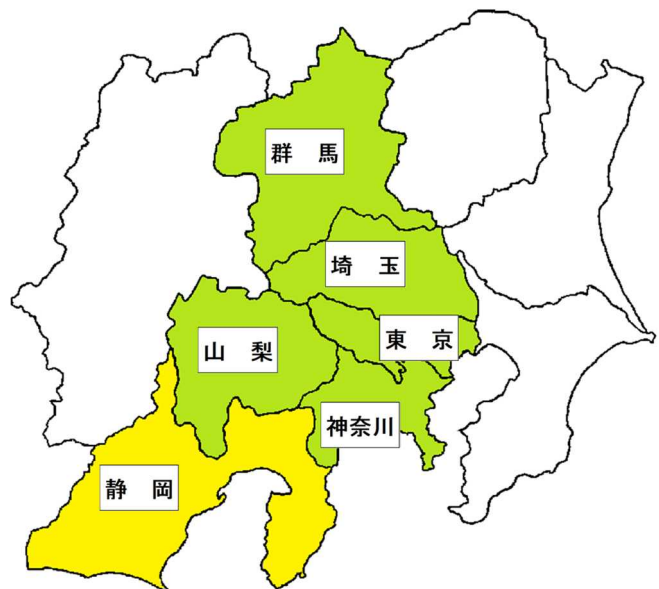
3 令和2年産水稻遅場地帯の作柄概況（8月15日現在）

区分	作柄の良否（平年比較）
群馬	やや不良
埼玉	やや不良
東京	やや不良
神奈川	やや不良
山梨	やや不良
静岡	平年並み

注：1 遅場地帯の作柄の良否は、気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表温度、日射量、植生指数等）を説明変数、10a当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、作柄を予測したものである。

2 本表における平年比較の表示区分は、「平年並み」が101～99%、「やや不良」が98～95%に相当する。

図2 関東農政局管内遅場地帯の作柄の良否



注：1 地図上の白抜きのは、早場地帯を表す。

2 本図で用いた作柄の良否の表示区分は、「平年並み」が対平年比101～99%、「やや不良」が対平年比98～95%に相当する。

区分	作柄の良否
（白抜き）	平年並み
（薄緑）	やや不良

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作柄概況調査として実施したものであり、水稻の作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給見通しの策定、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、関東農政局管内は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県及び静岡県との10都県である。

区分	調査対象都県
早場地帯	茨城県、栃木県、千葉県、長野県
遅場地帯	群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県

(2) 関東農政局管内各都県の各作柄表示地帯の包括範囲は以下のとおりである。

都県名	作柄表示地帯	市 町 村
茨城県	北部	水戸市、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、太子町
	鹿行	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
	南部	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
栃木県	西部	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町
	北部	大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町
	中部 南部	宇都宮市、鹿沼市、日光市、真岡市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町 足利市、栃木市、佐野市、小山市、下野市、壬生町、野木町
群馬県	中毛	前橋市、高崎市、伊勢崎市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、榛東村、吉岡町、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、玉村町
	北毛	沼田市、中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町
	東毛	桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
埼玉県	東部	さいたま市、川口市、行田市、加須市、春日部市、羽生市、鴻巣市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、三郷市、蓮田市、幸手市、吉川市、白岡市、伊奈町、宮代町、杉戸町、松伏町
	西部	川越市、熊谷市、秩父市、所沢市、飯能市、本庄市、東松山市、狭山市、深谷市、入間市、富士見市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、ふじみ野市、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町
千葉県	京葉	千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、成田市、佐倉市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
	九十九里	銚子市、茂原市、東金市、旭市、匝瑳市、香取市、山武市、大網白里市、神崎町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
	南房総	館山市、木更津市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町、鋸南町
東京都	－	特別区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町、大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村
神奈川県	－	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村

都県名	作柄表示地帯	市	町	村
山梨県	—	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、 笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、 昭和町、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村		
長野県	東 信	上田市、小諸市、佐久市、東御市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、 佐久穂町、軽井沢町、御代田町、立科町、青木村、長和町		
	南 信	岡谷市、飯田市、諏訪市、伊那市、駒ヶ根市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村、 辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、阿南町、阿智村、 平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、秦阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村		
	中 信	松本市、大田市、塩尻市、安曇野市、上松町、南木曾町、木祖村、王滝村、大桑村、 木曽町、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村、池田町、松川村、白馬村、小谷村		
	北 信	長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、 木島平村、野沢温泉村、信濃町、小川村、飯綱町、栄村		
静岡県	東 部	静岡市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、焼津市、藤枝市、 御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、 南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、吉田町、川根本町		
	西 部	浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町		

注：東京都、神奈川県及び山梨県については、作柄表示地帯を設定していない。

3 調査対象数

作況標本筆：1,094筆 作況基準筆：67筆

4 調査事項

田植期の遅速、出穂期の遅速、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、
登熟状況、被害状況、耕種条件等

5 調査期日

令和2年8月15日現在における水稻の作柄概況を調査した。

6 調査・集計方法

(1) 作柄概況調査

ア 母集団

空中写真（衛星画像等）に基づき、全国の全ての土地を隙間なく区分した200m四方（北海道にあっては、400m四方）の格子状の区画のうち、田耕地が存在する区画を調査のための「単位区」とし、この単位区の集まりを母集団としている。

イ 階層分け

都道府県別に地域行政上必要な水稻の作柄を表示する区域として、水稻の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割した区域を「作柄表示地帯」として設定し、この作柄表示地帯ごとに収量の高低、年次変動、収量に影響する条件等を指標とした階層分けを行っている。

ウ 標本配分及び抽出

都道府県別の標本数を階層別に水稻の作付面積に10a当たり収量の母標準偏差を乗じた積に比例して配分する。

階層別に配分された標本数を単位区の水稲作付面積（田台帳面積）に比例した確率で抽出する確率比例抽出法により標本単位区を抽出する。抽出された標本単位区内で、水稻が作付けされている筆から1筆を無作為に選定し、作況標本筆（実測調査を行う筆）とする。

エ 作況標本筆の実測

作況標本筆の対角線上の3か所を系統抽出法により調査箇所を選定し、株数、穂数、もみ数等の実測調査を行う。

オ 10a 当たり玄米重の算定

各作況標本筆について、一定株数（1 m²分×3か所の株数）の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、飯用に供し得る玄米（農産物規格規程（平成13年2月28日農林水産省告示第244号）に定める三等以上の品位を有し、かつ、粒厚が1.70mm以上であるもの）となるように選別し、10a 当たり玄米重を決定する。

カ 10a 当たり収量の推定

各作況標本筆の10a 当たり玄米重を基に、都道府県別の10a 当たり玄米重平均値を推定し、これにコンバインのロス率（コンバインを使用して収穫する際に発生する収穫ロス）や被害データ等を加味して検討を行い、都道府県別の10a 当たり収量を推定する。

さらに、作況基準筆（10a 当たり収量を巡回・見積りにより把握する際の基準とするものとして有意に選定した筆をいう。）の実測結果及び特異な被害が発生した際に設置する被害調査筆の実測結果を基準とした巡回・見積り並びに情報収集による作柄及び被害の見積りによって推定値を補完する。

キ 収穫量及び被害量

作況標本筆の刈取り調査結果から推定した10a 当たり収量に作付面積を乗じて収穫量を求める。

被害量は、農作物に被害が発生した後、生育段階に合わせて被害の状況を巡回・見積りで把握する。また、特異な被害が発生した場合は、被害調査筆を設置して調査を実施し把握する。

ク 実測を行えない事項は、過去の調査結果や気象データにより、職員が予測し、取りまとめている。

(2) 遅場地帯における作柄の良否の把握

気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）を説明変数、10a 当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、作柄を予測したものである。

遅場地帯の作柄の良否については実測調査を伴わない予測結果であり、穂数、もみ数等の実測調査及び気象データに基づき予測を行っている早場地帯とは予測の仕方が異なる。

なお、予測した10a 当たり収量は、未確定の要素が多いことから公表していない。

7 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等を指す。

- (2) 「作柄の良否」とは、10 a 当たり予想収量が平年と比較して多いか少ないかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (3) 「穂数の多少」とは、1 m²当たりの穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (4) 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についているもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (5) 「全もみ数の多少」とは、1 m²当たりのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (6) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (7) (3)から(6)までの平年比較とは、過年次の作況標本筆の実測調査結果から作成した1 m²当たり穂数等の平年値との比較である。

8 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法で四捨五入している。

原数	7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)	
四捨五入する桁数（下から）	3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない	
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- (2) この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和2年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」による旨を記載してください。

9 その他

本調査における作柄概況（8月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

お問合せ先

◎本統計調査結果について

《関東農政局全体》

関東農政局 統計部
生産流通消費統計課

電話：048-740-0594
FAX：048-740-5923

《茨城県》関東農政局 茨城県拠点 統計チーム

電話：029-231-2266
FAX：029-227-1535

《栃木県》関東農政局 栃木県拠点 統計チーム

電話：028-633-3106
FAX：028-633-9271

《群馬県》関東農政局 群馬県拠点 統計チーム

電話：027-221-1173
FAX：027-221-1174

《埼玉県》関東農政局 統計部 統計調査チーム

電話：048-740-1016
FAX：048-740-5923

《千葉県》関東農政局 千葉県拠点 統計チーム

電話：043-253-9212
FAX：043-253-9216

《東京都》関東農政局 東京都拠点 統計チーム

電話：03-5144-5261
FAX：03-5144-5279

《神奈川県》関東農政局 神奈川県拠点 統計チーム

電話：045-211-7174
FAX：045-212-4680

《山梨県》関東農政局 山梨県拠点 統計チーム

電話：055-254-6019
FAX：055-254-6059

《長野県》関東農政局 長野県拠点 統計チーム

電話：026-234-5577
FAX：026-235-1397

《静岡県》関東農政局 静岡県拠点 統計チーム

電話：054-246-6123
FAX：054-246-6122

◎農林水産統計全般について

関東農政局 統計部 統計企画課

電話：048-740-0058
FAX：048-740-5923



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>